



R.I. D.2740 JAPAN  
佐世保ロータリークラブ

2007~2008年度テーマ ROTARY SHARES — ローターは分かちあいの心 —  
2007~2008年度 R.I.会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

# SASEBO WEEKLY

会長・大神 邦明 幹事・中村 徳裕  
事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323  
例会場・佐世保玉屋8階（毎週水曜日） TEL 0956-23-8181

平成 19 年 9 月 5 日 第 2,807 回例会 NO 9

《本日》会員数 81 名(出席免除会員 23 名)・出席 53 名・免除者出席 8 名・欠席 5 名・ビジター 0 名・出席率 75.30%

《前々回》会員数 81 名(出席免除会員 23 名)・出席 49 名・メークアップ 9 名 修正出席率 100.00%

## 会長挨拶

会長 大神 邦明 君

皆様こんにちは。私はいつも冷房をかけて寝ていましたが、9月になって、夜の冷房が不要となりました。今日は私はクールビズとしました。西村会場監督から「率先してやってくれ」と言われて、思いきってノーネクタイです。皆様にとってもクールビズは、気持ち良い環境をつくる為に考えられる、ひとつの方法とも言えます。



本日卓話をしていただく地区交換学生の松永夕加さんとは、今年の1月12日頃、台北で侍依仁さんのご両親と3人で台南訪問団と会いました。話の中で、日本の正月の時は落ち込んでいたとの事でしたが、中国語はペラペラで良く話していて安心したものでした。

今後の活動では、大いに国際的に取り組んでください。夕加さんみたいなかわいい人が動き廻ると、国と国とがなごやかな交流ができます。日本を愛した上でね。

## 例会記録

- 国歌「君が代」
- ロータリーソング「奉仕の理想」
- 卓話者  
地区交換学生 松永 夕加さん
- ゲスト  
地区交換学生ホストファミリー 松永 美紀様

米山記念奨学生 <sup>リンキンギ</sup> 林欣儀さん  
九州文化学園高等学校 校長 <sup>くが</sup> 久家 謙二様  
教頭 <sup>えはら</sup> 穎原 秀子様

## 幹事報告

幹事 中村 徳裕 君

1. 台南ロータリークラブ 会長 蔡宗欣 君  
米山奨学生 林欣儀さん 台南扶輪社訪問のお知らせと奨学生へのRC会員皆様の温かい心遣いに対してのお礼状
2. (財)ロータリー米山記念奨学会  
理事長 島津 久厚 君  
表彰品・感謝状送付について  
大神 邦明会長 功労者
3. 第2740地区ガバナー 野口 清 君  
地区大会ご案内状、登録申し込み書送付について  
締め切り日/平成19年9月19日(水)
4. 地区米山記念奨学会  
委員長 北郷 雅子さん  
米山奨学生の卓話派遣時の交通費についてお知らせ  
卓話派遣希望クラブが倍増し、経費の面で厳しい為、交通費の支給を廃止いたします。派遣先が遠方の場合等、交通費を支給する場合は実費支給。
5. 地区交換学生 松永 夕加さん  
交換学生を終えての感想文をいただきました。

## 6. 佐世保中央ロータリークラブ

クラブ現況と活動計画書・前年度活動実績報告書

## 7. (財)佐世保地域文化事業団

理事長 朝長 則男 様

アルカスSASEBO情報誌「コンパス」送付のお知らせ

## 委員会報告

### ■親睦活動委員会 委員長 加納洋二郎 君

9月26日、観月例会のご案内をさせていただきます。今回は富士国際ホテルのビヤガーデン会場を借り切って、本物の月を眺めながらの風流な月見を实行したいと思



ます。9月25日が満月ですので、素晴らしい例会を兼ねた月見会となります。皆さん参加願います。

日時／平成19年9月26日(水) 18:30～

場所／富士国際ホテル 屋上ビヤガーデン  
常盤町 TEL 24-5931

(雨天の場合は室内に変更いたします)

会費／3,000円

### ■財団奨学・米山委員会

林欣儀さんへ奨学金授与



## その他の報告

九州文化学園高等学校 校長 久家 謙二 様  
交換学生事業に対するお礼



## ニコニコボックス

親睦活動委員会 木村 公康 君

大神 邦明 会長、福田 金治 君

橋高 克和 君、木村 公康 君、加納洋二郎 君

梅村 良輔 君、田中 信孝 君、芹野 隆英 君

高口 純一 君

松永夕加さんの卓話に期待して。

## 安部 直樹 君

本日は、九州文化学園高等学校の松永君が、交換学生としての体験を話します。久家校長、頼原教頭、夕加さんのお母様も同席されています。宜しくお願い致します。

ニコニコボックス	本日合計	11,000円
	累計	252,000円

## ロータリー3分間情報

職業分類委員会 下田 弥吉 君

長年にわたってロータリーでは一人一業種制度が守られてきました。その背景は、同業者がいるとお互いに利害関係が生じて親睦が阻害されるということがその理由であったということです。



しかしながら、会員が親しい関係にある同業者を推薦するならば、クラブ内の親睦を崩すことはないという考え方も起きてきました。

これがアデイショナル会員制度といわれるものでした。

あるいは職業分類を細分化して業種を増やすといった便法も取られ、いわば一人一業種制度は実際は崩壊してきたこととなります。

正式には2001年度の規定審議会で一人一業種制度による職業分類制度が廃止されました。現在は50人以下は5名、それ以上の会員数を持つクラブは10%以内の同一職業分類を持つ会員の入会が認められるようになりました。

## 卓話

『派遣学生帰国報告』

2006-07年度地区交換学生

松永 夕加さん



皆さんこんにちは

2006年8月から2007年7月にかけて台湾の台北に行っていた松永夕加です。

佐世保ロータリークラブの皆様には常に大変お世話になっております。

今日は私の台湾での経験と、それを踏まえての私の視点から見た台湾という国、そして台湾と日本の関係などについても話していきたいと思ひます。

まず初めに、台湾での一番初めの経験として、台湾の桃園国際空港に降り立ってすぐの時のことをいまだに鮮明に思い出すことができます。あの時私はとにかく台湾に「外国」を感じませんでした。すれ違う人々の顔、全体の色調、そしてその他言葉で言い表せない部分に「日本」を感じました。今となってそれは日本の植民地統治時代の名残だと分かりますが、その頃はそういった知識も少なく、とても不思議に思っただけです。

ここで日本統治時代の影が色濃く残る台湾のことは後で話すとして、先に私の一番目のホストファミリーを紹介しします。

私の一番目のホストファミリーは、お父さん、お母さんとともに大学生の頃、日本に留学をしていて、日本語がとてもお上手でした。特にお母さんからは毎日中国語を基礎の練習から教えてもらい、日本語の50音にあたる初歩から本当にわかりやすく親切に教えてもらいました。それだけではなく、台湾にまだ馴染めていない私に、台湾の庶民料理や日本人受けが有名な珍珠奶茶や魯肉飯など、食から私がより早く台湾に馴染めるよういつも考えていてくださいました。

また、お父さんは私が中国語を上手く習得できず悩んで焦り始めたとき、よく言ってくださった言葉がありました。それは「慢慢來」つまりは「ゆっくり一歩ずつ歩んでいけばいいよ。」という意味合いです。それを聞くと「なんで中国語が出来ないのだろう？」と焦っていた気持ちがスッと溶けてだいぶ楽になり、それと同時に新たな一歩が踏み出せました。今でもその言葉は私の宝物です。もしこの言葉がなければ私の中国語は今頃満足できる程度に到達していなかったかもしれません。

次に、私の二番目のホストファミリーを紹介したいと思ひます。このファミリーは前回の家族と違い、日本語が話せないという、台湾では当たり前前の家庭だったのですが、私にとっては初の実践場というのが引越して初日の正直な感想です。今まではいくら普段中国語で会話しているとはいえ、言い方がわからなかったり、物の単語がわからなかったりした時、どうしても日本語を使って聞いていた節があり、それま

ではあまり「言葉が通じなくて困る」という経験をしてきませんでした。ですが、このファミリーに引越すことになり初めて「言葉が通じない苦しみ」そして「言葉を学んでいく喜びを得る」という貴重な体験ができたと思ひます。

また、ここでは本当に台湾の歴史に多く触れることも出来ました。

次に私の3つ目のホストファミリーについて紹介したいと思ひます。このホストファミリーのお母さんはどの家庭の人より本当に「私にとって何が一番いいか。」を考えてくれる人でした。お母さんが言われる言葉は時に私にとって厳しく耳が痛い！ということもありましたが、そのママのお蔭で「なにが一番大切か」という面での視野を大きくすることが出来たと思ひます。一番印象に残っているのは引越して4ヵ月になる6月の頃の事でした。私は来週から始まる夏休みに胸を膨らませ、「台湾での残り少ない休みの間どこに誰と遊びに行くか」そんな事ばかり考えていました。

その時偶然にも夏休みについての計画をママに話すことになり、話を聞いてからママは優しく私にこう言われたのです。「夕加は台湾になにをしに来たの？台湾人の友達と遊ぶことも夕加にとって大きな中国語勉強になるけれど、それだけでは不十分だと思う」と。最初はママの言いたい事が上手く掴めず、学校も終業式を迎えた今どうすればいいのかと悩みましたが、私が何故台湾に来たのかという、根本の目標を思い出し、早速調べ、大学に外国人対象の中国語講座があると知ったのです。そして、夏休み中は午前中大学で勉強を終えたあと遊びに行くという生活を送り、その時は忙しく「受けない方がよかったかもしれない」と後悔したときもありましたが、今では台湾の大学の講座も体験できてただ「遊ぶだけ」では得られなかった、本当に充実した夏休みを過ごすことができました。この様なアドバイスを何度も受け、私は今回台湾でよく「自分はどれだけ幸福なのだろう」ということを考えました。

先程述べたように、素晴らしいホストファミリーに恵まれたこともそうですし、もちろん、このロータリークラブで貴重な体験をさせていただけたこと、佐世保のロータリーの方々いろいろな面からサポートをいただいたということ、また、ホストファミリーのつながりを通して、周りの方々に大変可愛がっていただいていた本当にありがとうございました。

次に台湾一周旅行です。この旅行ではとにかく



く台湾の美しさを見ることができました。台湾東部花蓮県では壮大なタロコ、台東県では勇ましい台湾原住民の踊り、墾丁では視界いっぱいに広がる青い海、青い空、高雄では愛河、嘉義市では神秘的な阿里山…というように、台北のような大都市に住んでいて忘れがちだった台湾の自然美を再認識できた旅でした。

さて、このように美しい所や素晴らしい所のたくさんある台湾ですが、日本に帰ってきて、日本人の台湾に対する興味・関心が、台湾人の日本に対する興味・関心よりだいぶ低い事に気が付きました。というのも、台湾ではまだ一部の人、一部の場所では日本統治時代の影が残っていて、日本のことを学び、よく知っている人も多いですし、日本語が話せる人もたくさんいます。その一つ下の世代では、日本への留学経験のある人も多くいます。もっと下の世代では日本の大衆文化、例えば、マンガ、アニメ、ドラマ、アイドル等を愛する人がたくさんいて、それが高じて自分で日本の文化や歴史、日本語を学ぶ人が増えてきています。しかし、日本では私が留学する前、した後、日本で友達や先生など、周りの方々に、「どこへ行くの？」あるいは「どこに行ったんだっけ？」と聞かれて、「台湾」と答えると、「台湾ってどこだっけ？」「台湾…ってことは台湾語を学んできたの？」もしくは「台湾って何語を話すんだっけ？」と聞かれることが多くあります。もちろんこの佐世保ロータリークラブでは、台湾の台南に姉妹クラブがあって、一般的な方々より台湾に関する知識や関心は高いと思いますが、やはり一般的には台湾について知っている人は少ないと思います。確かに台湾の言語事情は複雑で、約99%の人が中国語を話し、台湾語を話せる人は70%程です。そして若い世代になればなる程、台湾語を話せる率が下がってきます。また台湾には中国語のほかにも客家語、原住民の人々の話す言語等、たくさんの言語と文化があり、混ざり合いながら「台湾」という国家を構成しています。また先程私は「国家」という言葉を使いましたが、実際「台湾は一つの国家であるか？」と聞かれれば、答えは…「違う」ということになります。台湾は国家の三大要素である国民、主権、領土を全て持っていて更には独自の国歌、国旗歌、国旗も持っていますが、中華人民共和国か

らの独立を国連からも、そして中華人民共和国自体からも認められていません。日本では台湾を中国の一部と考えている人は比較的少ないようですが、それでも台湾がどのような所なのかに興味を持っていて知っている、という人は少ないと感じました。その理由の一つに、台湾人が他の国と違って日本から受けた扱いに対して悪い所ばかり見るのではなく、良い所も見て、そして過去の事は過去の事として認識して、これからどうやって歩いていくべきかに焦点を合わせ前に進んでいるからです。

私がここで言いたいのは、こんなに素晴らしい国はなかなかないのではないかとことです。と同時に日本のした事を許して、逆に日本をもしかしたら日本人以上に愛し、不必要な反日教育をしない、そんな国なかなかないのではないのでしょうか？ですから私は台湾から帰ってきた後、学校の友達や先生など、自分の周りの人から台湾の素晴らしさ、そして見習うべき点等を伝えていこうと思っています。また台湾と日本には現在正式な国交はありません。ですから、より早く独特な物をたくさん持つ素晴らしい国、台湾が早く独立を勝ち得て、日本とも正式な国交が結べるようになり、日本も台湾という国に対し少しでも関心を持っていったら嬉しいです。

今回、台湾という魅力的な国で1年間勉強しつつ、遊びつつ、いろいろな事を学ばせていただきましたが、これは一重に皆様のサポートがあったからこそできた事です。本当にありがとうございました。この台湾での経験をこれからの生活で十分に生かしていきたいと思っています。重ねて、本当にありがとうございました。

\*\*\*\*\*

**\*次回例会予告\***

卓話 長崎地裁佐世保支部判事補  
森 大輔 様  
「裁判員制度について」

(今週の担当 芹野 隆英)

**クラブ会報委員会**

委員 長	山下 尚登	委員	黒木 政純・溝口 尚則
副委員長	芹野 隆英		金氏嘉一郎・松尾 慶一